



2016年度 決算説明会

2017年5月30日

株式会社 A D E K A

証券コード 4 4 0 1



2016年度 決算説明

〔2016年4月～2017年3月〕

代表取締役社長 郡 昭夫

目次

1. 2016年度 連結業績
2. 2017年度 連結業績予想
3. 2017年度 事業施策
4. 中期経営計画の進捗状況
5. ご参考
 - ・ 2017年標語
 - ・ 海外売上高

1. 2016年度 連結業績

2016年度 連結業績の概要

連結

(単位：億円)

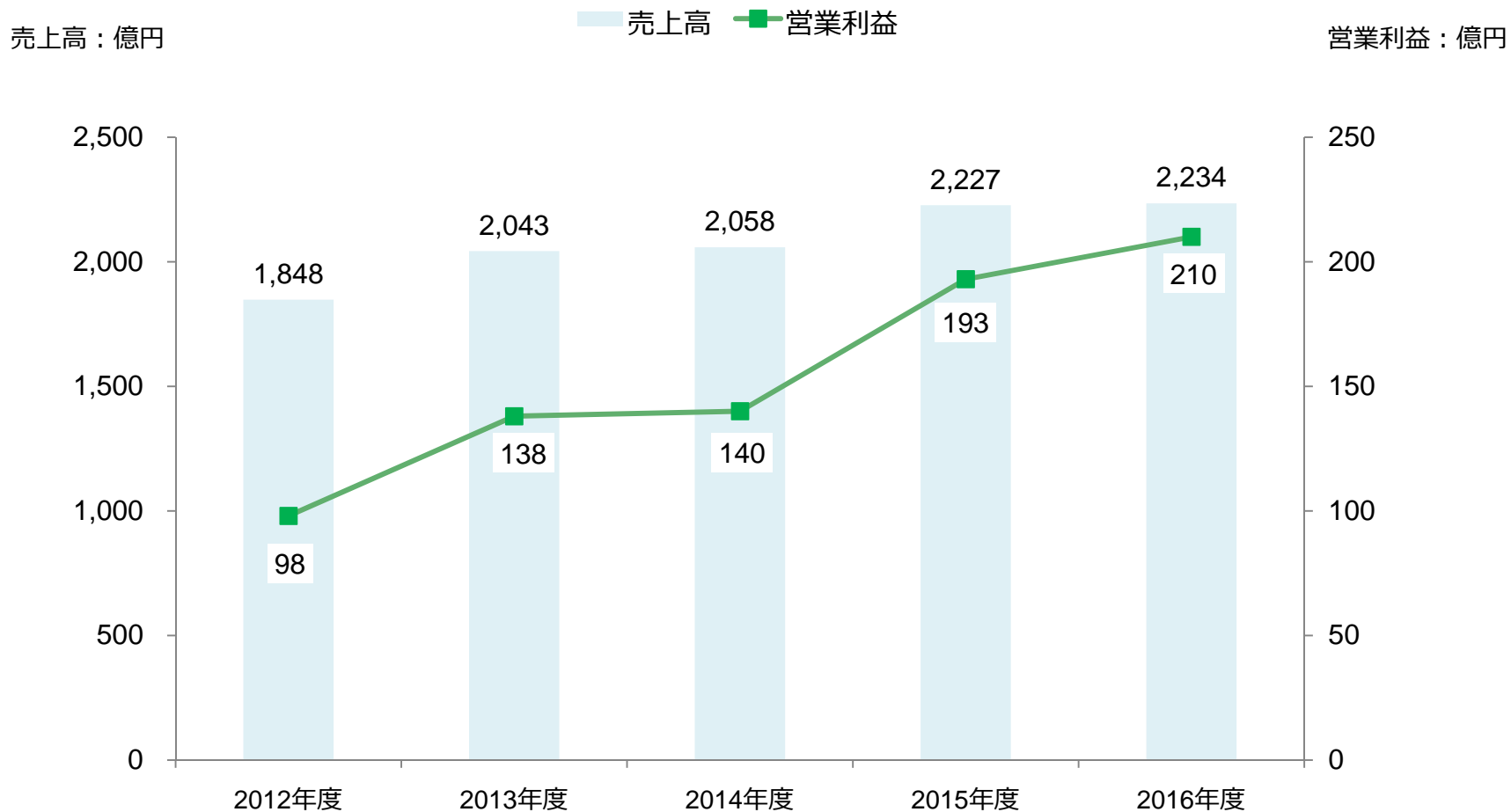
	2015年度	2016年度	増減	増減率 (%)
売上高	2,227	2,234	6	0.3
営業利益	193	210	17	9.0
経常利益	195	218	22	11.6
親会社株主に帰属する 当期純利益	132	153	20	15.6
1株当たり純利益 (円/株)	128.4円	149.0円	20.6円	
配当金 (円 / 株)	30円	35円	5円	

- 売上高、営業利益、経常利益、純利益のいずれも過去最高を更新した（2期連続）。
- 海外を中心に販売数量を伸ばしたが、為替の影響を大きく受けた。
- 配当は、予定通り（2016年11月2日公表）、創立100周年記念配当金5円を合わせて1株につき35円/年とした。

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

連結業績推移

連結



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度 連結業績(セグメント別数値)

(単位：億円)

連結

	2015年度	2016年度	増減	増減率(%)
売上高	2,227	2,234	6	0.3
化学品	1,538	1,476	△ 61	△ 4.0
情報・電子化学品	217	197	19	9.1
機能化学品	1,136	1,104	31	2.8
基礎化学品	184	174	10	5.5
食品	611	664	52	8.6
その他	77	93	15	20.1
営業利益	193	210	17	9.0
化学品	171	183	12	7.0
情報・電子化学品	47	29	18	38.0
機能化学品	98	122	23	23.8
基礎化学品	24	31	6	27.0
食品	16	22	6	38.2
その他	5	4	△ 0	△ 14.2

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業 (情報・電子化学品)

連結

情報・電子化学品 (減収・減益)

1. 光硬化樹脂や光重合開始剤は、光学フィルムやフォトレジスト向けの販売が国内外で堅調に推移した。
2. 半導体材料は、3D-NANDに使われる製品の販売が堅調に推移したが、DRAM向け高誘電材料は低調だった。
3. 回路材料は、リードフレーム向けのエッチング薬剤が国内で堅調に推移した。

(単位：億円)

	2015年度	2016年度	増減
売上高	217	197	△ 19
営業利益	47	29	△ 18

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業 (機能化学品)

連結

機能化学品 (減収・増益)

1. 樹脂添加剤は、造核剤／透明化剤、光安定剤などの添加剤及び塩ビ向け安定剤の販売が国内外で伸長し、酸化防止剤や可塑剤の販売数量も海外を中心に増えたが、円高による為替の影響を受けた。
2. 界面活性剤は、化粧品向けのグリコール系保湿剤や塗料・接着剤向けの反応性乳化剤が海外を中心に堅調に推移した。
3. 潤滑油添加剤は、自動車エンジンオイル向けの添加剤が、国内外で好調に推移し、過去最高の販売数量となった。
4. 機能性樹脂は、環境規制に対応した水系樹脂や自動車向け構造接着剤用の特殊エポキシ樹脂の販売が伸長した。

(単位：億円)

	2015年度	2016年度	増減
売上高	1,136	1,104	△ 31
営業利益	98	122	23

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 化学品事業 (基礎化学品)

連結

基礎化学品 (減収・増益)

1. プロピレングリコール類は、トイレタリー等の日用品用途の需要が堅調に推移した。
2. 過酸化水素は、販売数量が減少したが、液晶ディスプレイの電子回路用途などで同誘導品が拡大したことに加え、生産・物流効率などのコスト削減に継続して取り組んだ。

(単位：億円)

	2015年度	2016年度	増減
売上高	184	174	△ 10
営業利益	24	31	6

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

セグメント情報 / 食品事業

連結

食品（増収・増益）

1. 国内では、製パン、製菓、洋菓子向けにマーガリン、ショートニング類、ホイップクリーム等の販売が好調に推移したことに加え、株式会社クラウンの連結子会社化が寄与し、増収となった。
2. 海外では、販売・開発体制の強化と現地ニーズにあった製品の開発などにより、中国、東南アジアでの販売が拡大した。

（単位：億円）

	2015年度	2016年度	増減
売上高	611	664	52
営業利益	16	22	6

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2. 2017年度 連結業績予想

2017年度 連結業績予想

連結

(単位：億円)

	2017年度			対前年度 増減	増減率 (%)
	上期 (予想)	下期 (予想)	通期 (予想)		
売上高	1,175	1,225	2,400	165	7.4
営業利益	92	108	200	△ 10	△ 4.9
経常利益	91	117	208	△ 10	△ 4.8
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	79	140	△ 13	△ 8.6
1株当たり純利益 (円/株)	59.3円	76.8円	136.2円	△ 12.9円	
配当金 (円 / 株)	17円	18円	35円	0円	

		2017年度前提		2016年度実績	
為替	円/\$		113.00		108.38
	円/€		120.00		118.79
ナフサ	円/KL		41,000		34,675

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2017年度 連結業績予想

- 海外で生産設備を増強した樹脂添加剤及び半導体材料の販売が拡大し、売上高は前年度を上回る予想だが、積極的な設備投資等による固定費の増加、原燃料価格の上昇等によるコストアップを見込む。

	これまで実施した主な設備投資	2017年度計画
化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・ AMFINE CHEMICAL CORPORATION【米国】で高機能添加剤の生産設備増強 (2017年1月完工) ・ ADEKA PALMAROLE SAS【フランス】でワンパック顆粒添加剤の生産設備増強 (2017年1月完工) ・ ADEKA KOREA CORPORATIONで半導体メモリ向け誘電材料の生産設備増強 (2017年1月完工) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 艾迪科精細化工（浙江）有限公司【中国】の工場建設着工（2017年秋予定） ・ 三重工場でプラスチック用高機能添加剤の生産設備増強（2018年1月稼働予定） ・ ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND)で塩ビ用安定剤の生産設備増強 (2017年10月稼働予定) ・ 千葉工場で特殊非イオン界面活性剤の生産設備増強（2018年9月稼働予定）
食品	<ul style="list-style-type: none"> ・ 艾迪科食品（常熟）有限公司【中国】で加工食品製品の製品倉庫を増設（2016年7月） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.で加工食品の製造ラインを新設（2017年7月稼働予定）

2017年度 連結業績予想(セグメント別)

(単位：億円)

連結

	上期予想 (a)	下期予想 (b)	通期予想 (a)+(b)	前年度実績 (c)	増減 (a)+(b)-(c)	増減率 (%)
売上高	1,175	1,225	2,400	2,234	165	7.4
化学品	788	817	1,605	1,476	128	8.7
情報・電子化学品	108	122	230	197	32	16.4
機能化学品	595	605	1,200	1,104	95	8.6
基礎化学品	85	90	175	174	0	0.4
食品	347	363	710	664	45	6.9
その他	40	45	85	93	△ 8	△ 9.3
営業利益	92	108	200	210	△ 10	△ 4.9
化学品	86	93	179	183	△ 4	△ 2.4
情報・電子化学品	20	23	43	29	13	45.1
機能化学品	56	60	116	122	6	5.0
基礎化学品	10	10	20	31	11	36.7
食品	4	13	17	22	△ 5	△ 24.0
その他	2	2	4	4	△ 0	△ 15.3

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

3. 2017年度 事業施策

2017年度 事業施策

情報・電子化学品

- 光材料は、光学フィルムやカラーフィルター向けの光硬化樹脂、光重合開始剤を拡販するとともに、最先端市場の開拓と新製品による新規顧客の獲得を目指す。
- 半導体材料は、3D-NAND、ロジック半導体向け材料を拡販するとともに、DRAM向け高誘電材料の安定供給とコストダウンに注力する。

機能化学品

- 樹脂添加剤は、高機能製品の拡充及び酸化防止剤など汎用製品と難燃剤の拡販を海外拠点と連携して進めるとともに、グローバル市場をリードする新製品の開発を推進する。
- エンジンオイル添加剤は、国内、欧州の自動車メーカーへの販売を強化する。
- 化粧品原料は、新規グリコールを国内で拡販するとともに、水系ゲル化剤をアジアを中心に拡販する。
- 反応性乳化剤は、海外市場を重点とした拡販と新規市場開発を加速する。

基礎化学品

- 原燃料価格の変動への対応とコストダウンを継続して実施する。
- 過酸化製品は、収益性のさらなる改善を図るとともに、高付加価値製品の開発を加速する。
- プロピレングリコール類は、高付加価値製品の用途展開を加速する。

食品

- 国内は、製パン・製菓・洋菓子市場で戦略製品・新製品を拡販し、事業基盤を強化すると同時に、品種統合などのコスト削減策を継続し、収益改善を図る。
- 海外は、現地嗜好に合った製品と食感や風味などを高める製品の開発を推進し、アジア市場をターゲットに加工油脂、加工食品の販売拡大を目指す。

4. 中期経営計画の進捗状況

中期経営計画の概要

2025年の
ありたい姿

ADEKA VISION 2025

先端技術で明日の価値を創造し
豊かなくらしに貢献するグローバル企業

中期経営計画「STEP 3000 - ~グッドカンパニーの実現~」

期 間

2015~2017年度（3カ年）

位置づけ

- ・売上高3,000億円のグッドカンパニーを確実に実現する期間
- ・ADEKA VISION 2025の達成に向けた最初の3年間

基本戦略

1. コア事業を中心とした規模拡大
『樹脂添加剤』 『食品』
2. 第3のコア事業の育成
『情報・電子』
3. 新規事業の育成や業容／領域の拡大
『ライフサイエンス』 『環境・エネルギー』

3つの基本方針

1. 海外
グローバル化の拡大とローカライゼーションの加速
2. 技術
基盤・コア技術の深耕によるイノベーションの創出
3. 人財
グローバル人財、戦略立案人財の拡充と成長

数値目標に対する進捗

(単位：億円)

	2014年度 前中計最終年度 (実績値)	2015年度 中計1年目 (実績値)	2016年度 中計2年目 (実績値)	2017年度	
				業績予想値	中計最終年度 (目標値)
売上高	2,058	2,227	2,234	2,400	3,000
営業利益	140	193	210	200	240
営業利益率	6.8%	8.7%	9.4%	8.3%	8.0%
海外売上高	843	973	927	1,030	1,500
海外売上高 比	41.0%	43.7%	41.5%	42.9%	50.0%

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

基本戦略1 コア事業を中心とした規模拡大 『樹脂添加剤』『食品』

【樹脂添加剤】

〈中計1・2年目の施策〉

● 事業拠点の拡充

- ベトナムのホーチミン市に駐在員事務所を開設し、化学品・食品の市場調査を開始（2016年10月）
- 中国浙江省に樹脂添加剤など化学製品の製造販売会社である「艾迪科精細化工（浙江）有限公司」を新設（2017年1月）
※2020年1月に工場操業開始予定

● 生産設備の増強等

- 縮合リン酸エステル系難燃剤の生産を中国・台湾に集約（2015年度）
- 台湾で汎用酸化防止剤の供給体制を強化（2015年度）
- 米国で液状安定剤の生産設備を増強（2016年度）、
高機能添加剤の生産設備を増強（2017年1月完工）
- UAEでワンパック顆粒添加剤の製品倉庫を新設（2016年11月完工）
- フランスでワンパック顆粒添加剤の生産設備を増強（2017年1月完工）

● 新製品の開発

- ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) の研究開発体制を強化（2015年度）
- ポリオレフィン用樹脂向けの帯電防止剤を開発し、展示会や学会でのPRを開始（2016年度）



▲ ホーチミン市駐在員事務所があるテナントビル外観



▲ ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)

基本戦略1 コア事業を中心とした規模拡大 『樹脂添加剤』『食品』

【食 品】

〈中計1・2年目の施策〉

● 国内基盤の強化

- 鹿島工場で、加工油脂製品の製造プラントを新設（2015年5月）
- 明石工場で、国際的な食品安全システム認証規格「FSSC 22000」を取得（2015年4月）
- 株式会社クラウンを連結子会社化し、販売体制を強化（2016年8月～）
- 品種統合などによるコストダウンを継続実施

● 海外展開の加速

- ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD. 【マレーシア】の製造工場が本格稼働し、東南アジア圏をターゲットに、加工油脂製品の販売開始（2015年度～）
また、食品の安全性を確保する衛生管理システム「HACCP」を取得（2015年4月）
- 艾迪科食品（常熟）有限公司【中国】で、加工食品製品の製造ラインを増設（2015年10月）、製品倉庫を増設（2016年7月）
- ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD. 【シンガポール】で、国際的な食品安全システム認証規格「FSSC 22000」を取得（2016年5月）
- ADEKA 食品開発研究所内に「海外食品開発室」を新設（2017年4月）



▲ ADEKA FOODS (ASIA) SDN. BHD.

【情報・電子】

〈中計1・2年目の施策〉

● 情報化学品

- ブラックマトリックスレジストの生産・販売を台湾に集約し、競争力を強化（2015年10月）
- 台湾艾迪科精密化学で、研究開発部門を新設し、テクニカルサービス体制を強化（2016年度）
- 液晶ディスプレイ向け光硬化樹脂の販売を拡大、製品ラインナップを拡充し、新規顧客の獲得に注力
- 光重合開始剤は、カラーフィルター用レジスト向けに高感度と高輝度を高いレベルで両立した製品を開発し、顧客への提案と拡販に注力（2015年度～）

● 電子材料

- 鹿島工場で、ロジック半導体など向けALD材料の生産設備を増強（2016年5月）
- ADEKA KOREA CORP.で、3D-NANDメモリなど向け誘電材料の生産設備を増強（2017年1月完工）
- DRAM、NANDメモリ、ロジック半導体の更なる微細化に対応した次世代材料（誘電材料、配線材料）の開発を推進
- 独自の樹脂配合技術などを駆使して、高耐熱、高放熱を実現したエポキシ系絶縁シートを開発、車載用パワーモジュールやハイパワーLEDといった幅広い用途でサンプルワークを開始（2015年度～）



▲ ADEKA KOREA CORP.

【界面化学品 / 機能性樹脂 / 基礎化学品】

〈中計 1 ・ 2 年目の施策〉

● 界面化学品

- エンジンオイル向けの潤滑油添加剤は、製品評価設備を導入し、ディーゼルエンジン向け製品の研究開発体制を強化（2015年度）
また、相馬工場ではエンジンオイル向け潤滑油添加剤の原料貯蔵タンクを増設（2016年10月完工）
- 湘南工科大学と東京都立産業技術研究センターとの共同開発により、SAPS（金属、硫黄、リン）を含まない極圧剤を開発（2015年度）。SAPSを添加した従来の極圧剤を上回る性能を確認し、ギア油やエンジン油の他、機械油やグリースなど幅広い用途に展開し、2018年度までに実用化予定
- 化粧品原料は、低刺激性を特長とする新規グリコールを開発（2015年度）
欧州・中国での代理店網を拡充（2016年度）
展示会への出展・提案セミナーの開催などにより、化粧品原料のPR活動を強化

● 機能性樹脂

- 自動車分野をターゲットとした高機能品の開発・販売体制を強化（2015年度）
- 低塩素エポキシ樹脂と硬化剤の配合技術を生かして、レーザーで樹脂を硬化させる接着剤を開発、電子材料向けなどで本格的な市場開拓を開始（2015年度～）

● 基礎化学品

- プロピレングリコール類は、併産する高付加価値品を需要バランスに応じて生産できる体制を構築（2015年度～）
- 過酸化製品は、生産・物流の効率化など、コストダウンの徹底を継続実施

基本戦略3 新規事業の育成や業容／領域の拡大

【ライフサイエンス / 環境・エネルギー】

〈中計1・2年目の施策〉

● ライフサイエンス

次世代医療材料である『脱細胞化再生医療材料』やインフルエンザウイルスの感染防御を目的とした『経鼻吸収型ワクチン向けアジュバント』などを開発。オープンイノベーションなども積極的に活用し、事業化への取り組みを推進している（2015年度～）

● 環境・エネルギー

『グラフェン』

- ・ 東京大学からグラフェン製造技術のライセンスを取得し、サンプル提供を開始（2015年10月）
- ・ NEDOのプロジェクト「エネルギー・環境新技術先導プログラム」に参画し、グラフェンの用途として、次世代燃料電池向け触媒としての可能性を検討した（2016年度）

『風力発電用ブレード向け材料』

NEDOのプロジェクト「風力発電高度実用化研究開発」に参画し（～2016年2月）、次世代大型風車のブレードに適用できる繊維強化プラスチック向けエポキシ樹脂などを開発（2015年度）メガワット級風車での実用化に向けた検討を継続している

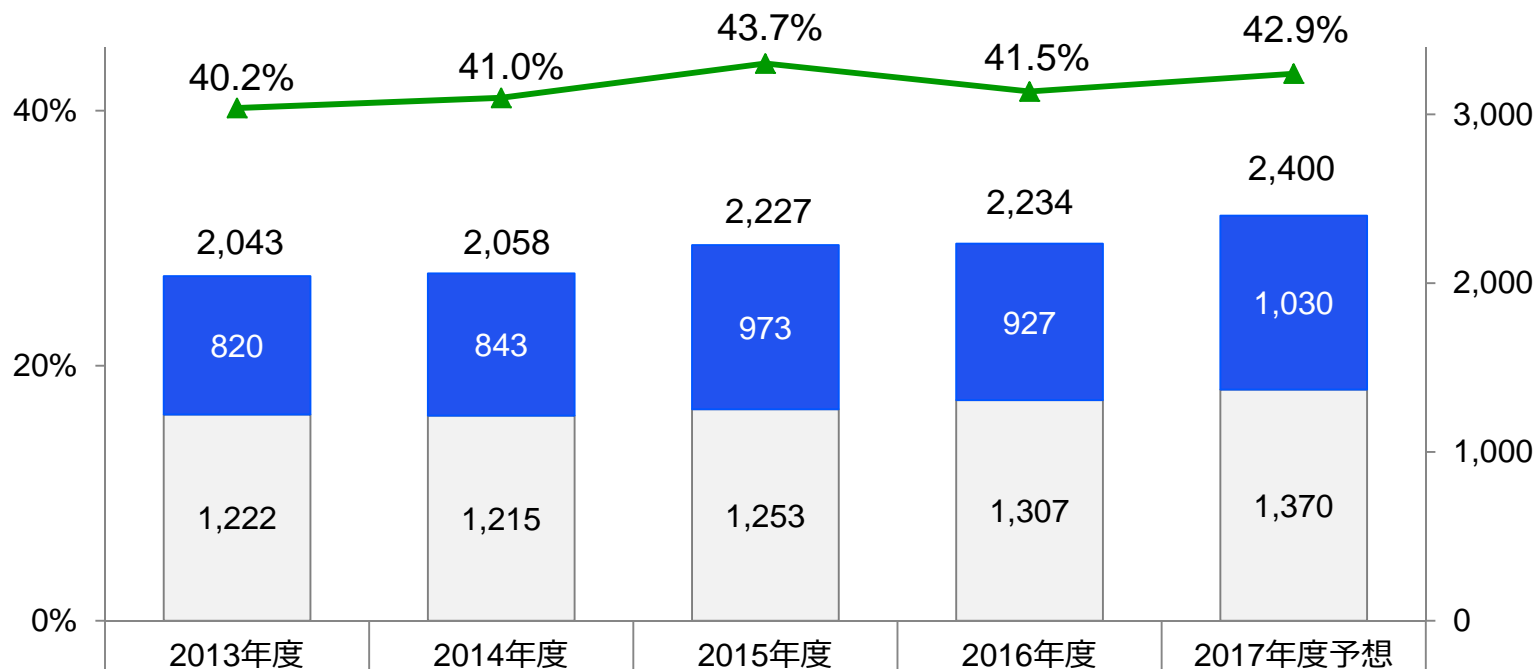
5. ご参考

2017年標語(ご参考)

**未来へ繋ぐ
技術と信頼
切り拓け
新たな100年**

海外売上高(ご参考)

(単位：億円)



■ 海外売上高	820	843	973	927	1,030
□ 国内売上高	1,222	1,215	1,253	1,307	1,370
▲ 海外売上高比率	40.2%	41.0%	43.7%	41.5%	42.9%
売上高	2,043	2,058	2,227	2,234	2,400

注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載 注2) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2016年度 決算説明補足資料

- I. 連結決算補足資料
- II. 経営指標等
- III. ご参考
 - 単独・連結子会社の決算概要
 - ADEKAグループ概要（連結子会社・持分法適用会社）
 - 事業区分別主力製品

取締役常務執行役員 富安 治彦

-1. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2016.3.31現在)	当連結会計年度 (2017.3.31現在)	前年度比 増減
資産の部			
流動資産 ①	145,076	155,901	10,824
固定資産	124,962	134,583	9,621
有形固定資産 ②	78,529	80,121	1,592
無形固定資産	3,818	3,982	163
投資その他の資産 ③	42,613	50,479	7,865
資産合計	270,038	290,485	20,446
負債の部			
流動負債 ④	65,991	67,845	1,853
固定負債 ⑤	33,461	34,682	1,221
負債合計	99,452	102,528	3,075
純資産の部			
株主資本	153,363	166,755	13,392
資本金	22,899	22,899	—
資本剰余金	19,926	19,926	—
利益剰余金	110,764	124,520	13,755
自己株式	△ 227	△ 590	△ 363
その他の包括利益累計額	9,945	13,321	3,376
その他有価証券評価差額金	4,490	8,919	4,428
土地再評価差額金	4,276	4,276	—
為替換算調整勘定	4,082	2,604	△ 1,477
退職給付に関する調整累計額	△ 2,904	△ 2,477	426
非支配株主持分	7,276	7,879	602
純資産合計	170,586	187,956	17,370
負債及び純資産合計	270,038	290,485	20,446

POINT①

流動資産の増加

現金及び預金の増加	3,006百万円
受取手形及び売掛金の増加	4,806百万円

POINT②

有形固定資産の増加

建設仮勘定の増加	1,645百万円
----------	----------

POINT③

投資その他の資産の増加

投資有価証券の増加	8,588百万円
-----------	----------

POINT④

流動負債の増加

短期借入金の増加	608百万円
未払法人税等の増加	883百万円

POINT⑤

固定負債の増加

長期借入金の増加	653百万円
----------	--------

注1) 金額は百万円未満を切り捨てて表示 注2) 有形固定資産の減価償却累計額 163,301百万円

-2. キャッシュフロー計算書(要約)

連結

(単位：百万円)

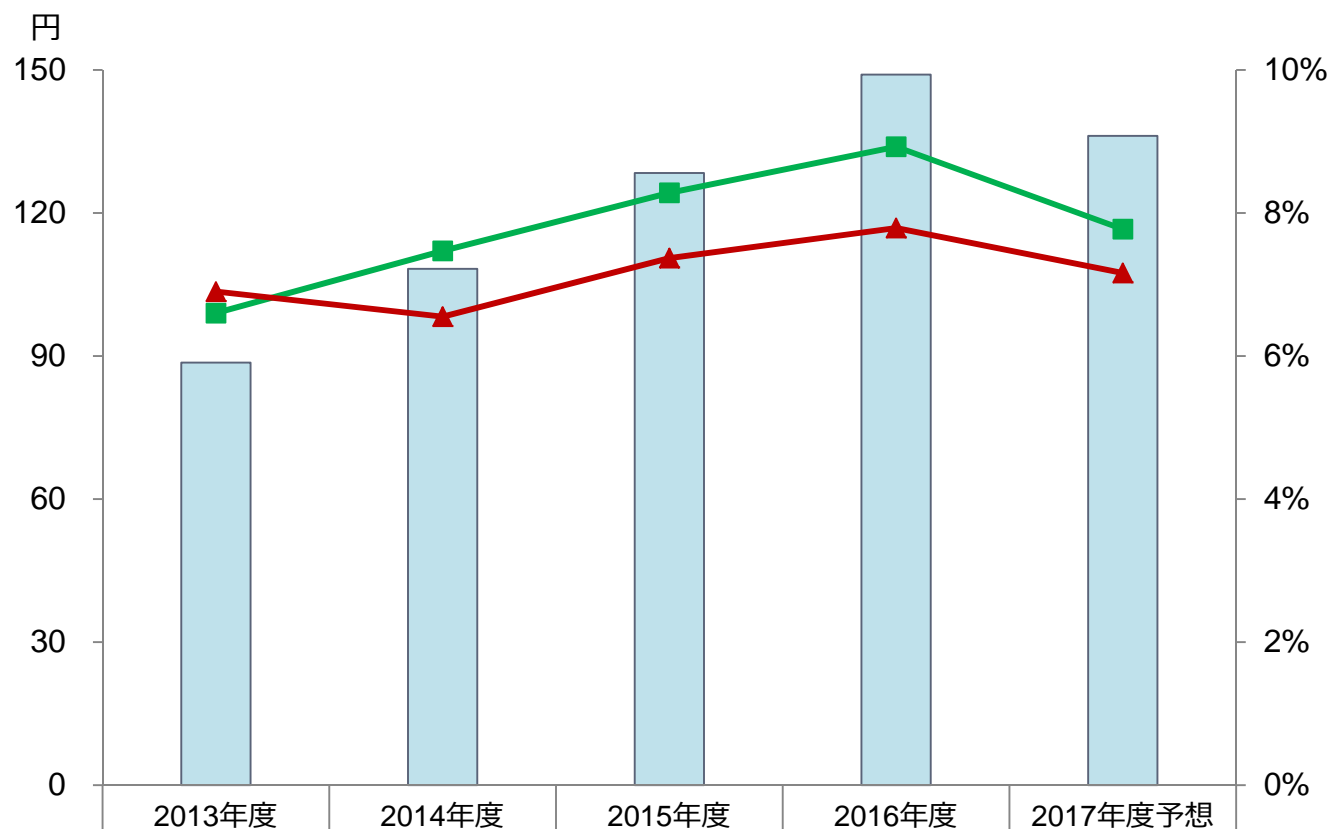
	前連結会計年度 (自 2015年4月1日 至 2016年3月31日)	当連結会計年度 (自 2016年4月1日 至 2017年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	23,806	22,183
投資活動によるキャッシュ・フロー ①	△ 10,673	△ 16,666
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,566	△ 3,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 860	△ 1,019
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7,706	692
現金及び現金同等物の期首残高	41,697	49,981
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	577	89
現金及び現金同等物の期末残高	49,981	50,762

POINT 投資活動によるキャッシュ・フローの支出増は、有形固定資産の取得が主な要因である。

注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示

-1. 収益性

連結

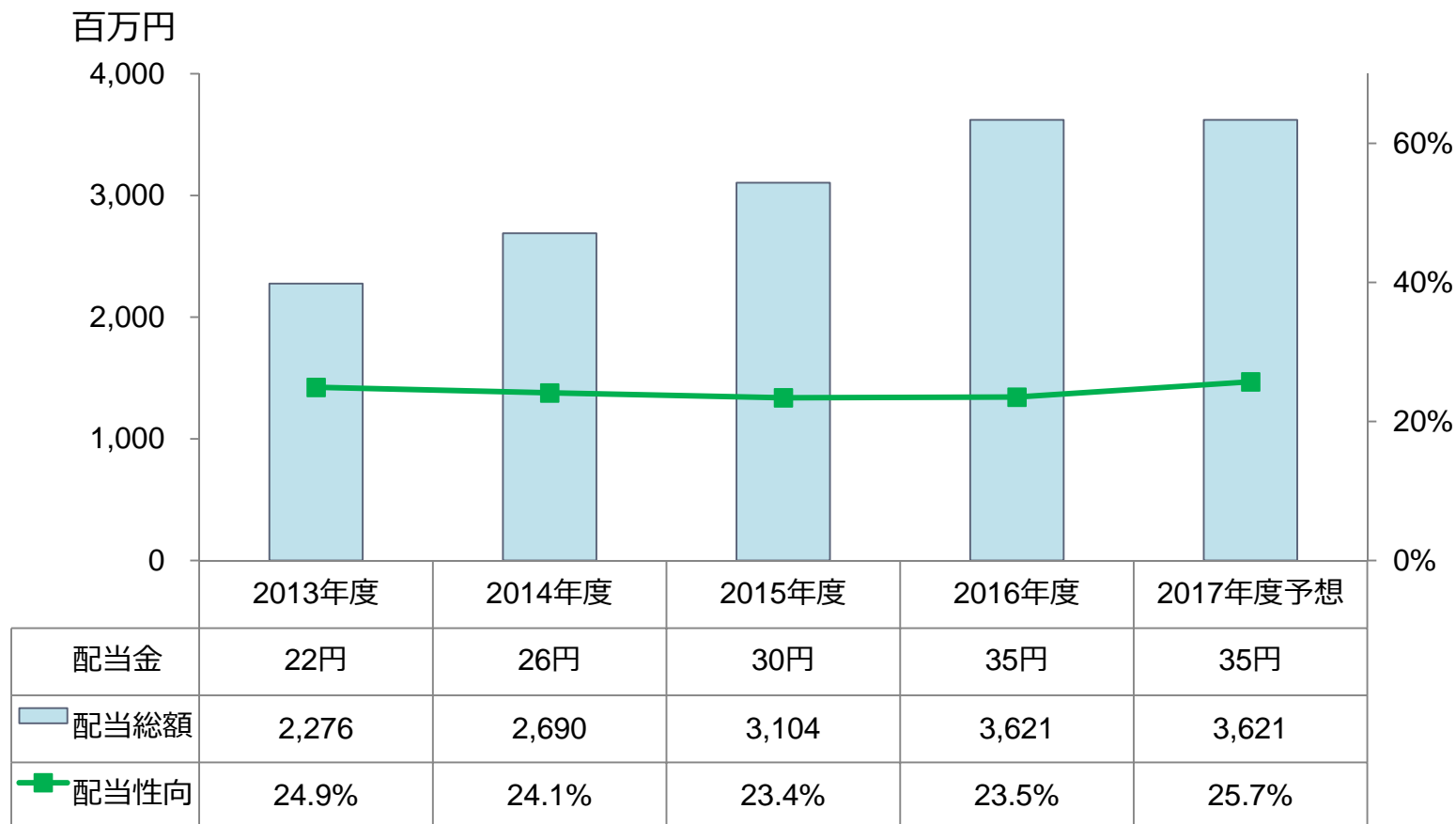


■ EPS (1株当り当期純利益)	88.6円	108.3円	128.4円	149.0円	136.2円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	6.6%	7.5%	8.3%	8.9%	7.8%
▲ ROA (総資産経常利益率)	6.9%	6.6%	7.4%	7.8%	7.2%

注) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

-2. 配当金、配当性向

連結



注1) 2014年度は、会計方針の変更による遡及適用後の数値を記載

注2) 2016年度の配当金35円には、創立100周年記念配当金5円を含む

注3) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

-3. 研究開発費

連結

百万円

10,000

8,000

6,000

4,000

2,000

0

8%

6%

4%

2%

0%

2013年度

2014年度

2015年度

2016年度

2017年度予想

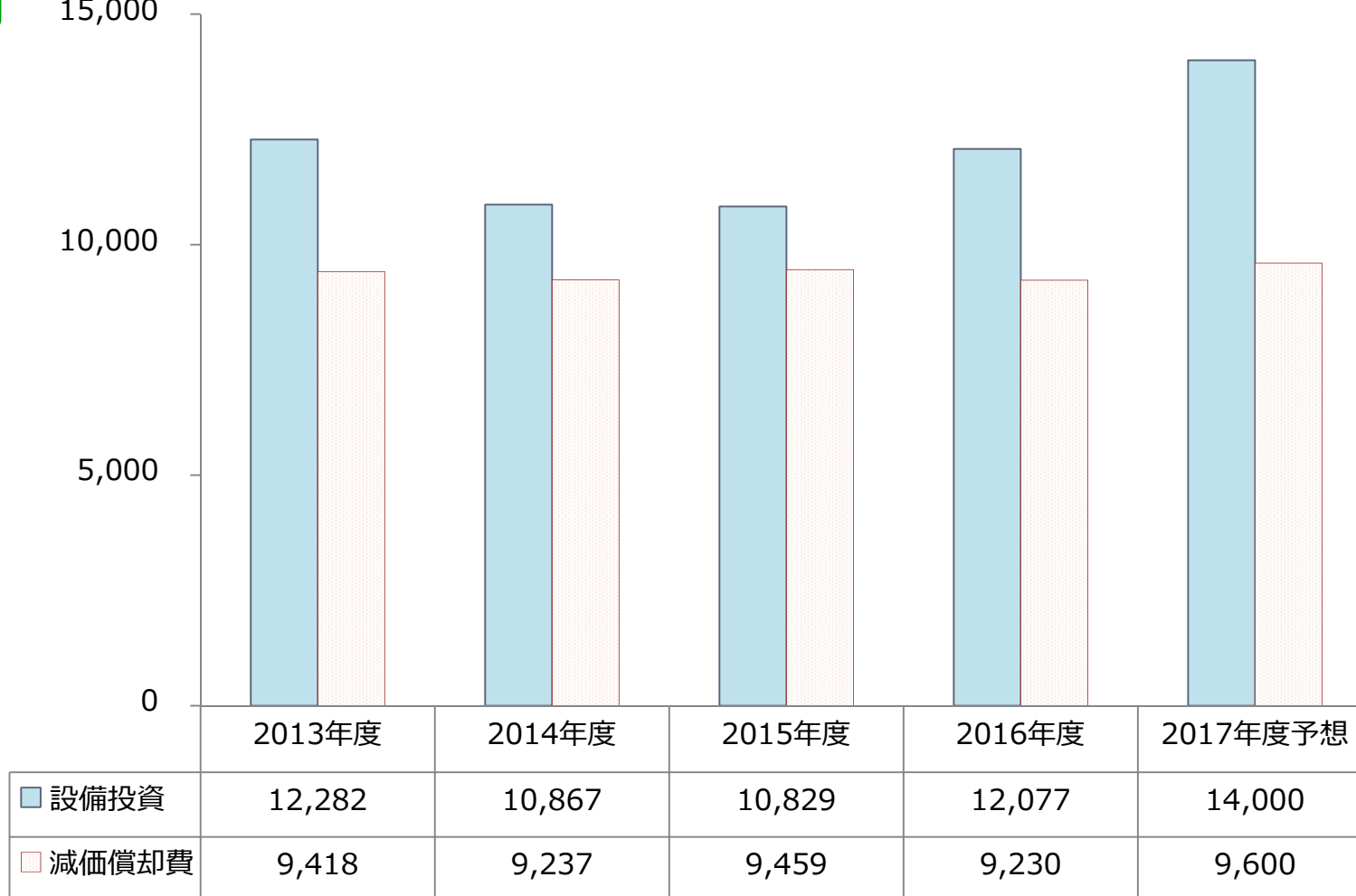
■ 研究開発費	7,988	8,247	8,588	8,735	9,000
■ 売上高研究開発費比率	3.9%	4.0%	3.9%	3.9%	3.8%

注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示

-4. 設備投資

連結

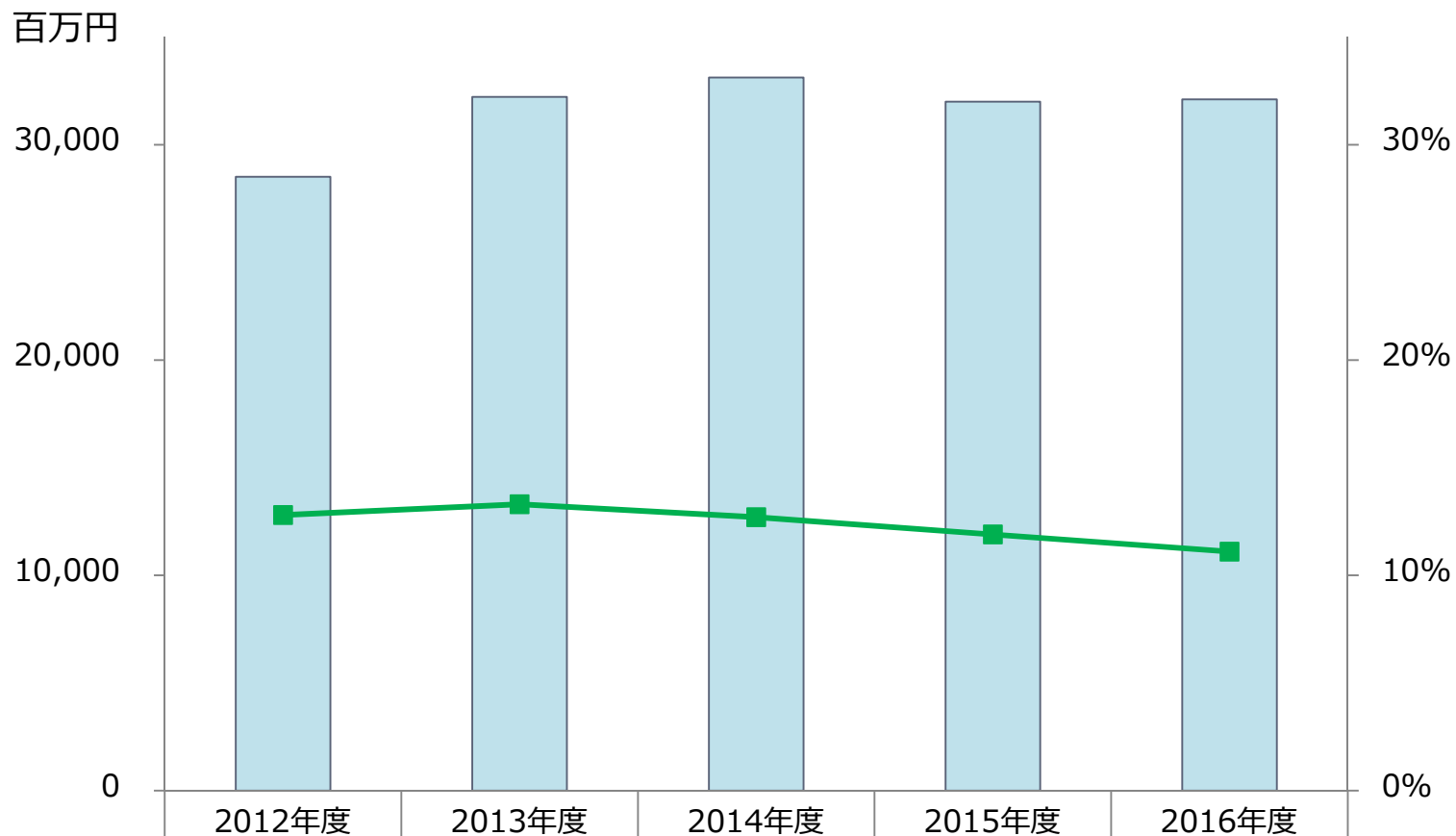
百万円
15,000



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

-5. 有利子負債

連結



有利子負債	28,513	32,222	33,123	32,003	32,108
有利子負債依存度	12.8%	13.3%	12.7%	11.9%	11.1%

注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

-1. 単独・連結子会社の決算概要

(単位：億円)

単独決算				
	2015年度	2016年度	増減	増減率 (%)
売上高	1,235	1,249	14	1.2
営業利益	119	126	6	5.8
経常利益	134	143	9	6.8
当期純利益	96	109	13	13.9
1株当たり 当期純利益	93.0	106.0		

国内（11社）注1				
	2015年度	2016年度	増減	増減率(%)
売上高	762	816	54	7.1
営業利益	13	17	4	32.4

海外（16社）注2				
	2015年度	2016年度	増減	増減率(%)
売上高	1,222	1,182	△40	△3.3
営業利益	66	73	7	11.0

連結調整（消去他）		
	2015年度	2016年度
売上高	△993	△1,014
営業利益	△5	△6

注1) 2016年度第2Qから(株)クラウンを連結の範囲に追加

注2) 2016年度第1Qから米国のADEKA USA CORP.を
連結の範囲に追加

注3) 金額は億円未満を切り捨てて表示

-2. 連結子会社概要(国内11社)

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	A D E K Aケミカルサプライ(株)	104百万円	98.04 (間接所有3.61)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	A D E K Aクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造販売
食品	A D E K A食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.14	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	A D E K Aファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト調理食品の製造販売
食品	(株)クラウン	10百万円	51.00	食脂、食用油など食品材料及び加工食品などの卸売業
その他	A D E K A物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K Aライフクリエイト(株)	65百万円	90.00 (間接所有10.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

-3. 連結子会社概要(海外16社)

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率 (%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USドル	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USドル	60.00	樹脂添加剤の製造・販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USドル	60.00 (間接所有60.00)	樹脂添加剤の製造・販売
ドイツ	化学品	ADEKA Europe GmbH	50万ユーロ	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA PALMAROLE SAS	300万ユーロ	90.00 (間接所有90.00)	樹脂添加剤の製造・販売
中国	化学品	艾迪科(中国)投資有限公司	1,100万USドル	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(上海)有限公司	2,050万USドル	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、 電子材料等の製造・販売
中国	化学品	艾迪科精細化工(常熟)有限公司	2,154万USドル	50.00	樹脂添加剤の製造・販売
中国	食品	艾迪科食品(常熟)有限公司	1,500万USドル	70.00	加工油脂、加工食品の製造・販売
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTドル	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造・販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTドル	100.00	化学製品の製造・販売
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億ウォン	100.00	化学製品の製造・販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL(THAILAND)CO.,LTD.	3億5000万バーツ	81.00	化学製品の製造・販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USドル	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA(SINGAPORE)PTE.LTD.	800万Sドル	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地 及び関連食品の製造・販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS(ASIA)SDN.BHD.	45百万RM	60.00	加工油脂の製造・販売

-4. 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率	事業内容
日本農薬(株)	10,939百万円	24.61%	農薬等の製造販売
(株)コープクリーン	80百万円	46.88%	石鹼、洗剤等の開発、販売
昭和興産(株)	550百万円	20.81%	合成樹脂、化学品、産業資材、 情報電材、環境関連製品の販売

※2016年度第3Qから昭和興産(株)を持分法適用会社に追加

注) 資本金は百万円未満を切り捨てて表示

-5. 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、その他
		基礎化学品	プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、工業用油脂誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、濃縮乳タイプクリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は、今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。